

神奈川県およびその周辺地域の地震活動 (2012 年 8 月)

神奈川県温泉地学研究所

1. 神奈川県およびその周辺地域における 2012 年 8 月の地震活動概況

- 当所の地震観測網によって、8 月 1 日から 8 月 31 日までの間に震源決定できた地震数は 56 回でした。この期間中、神奈川県およびその周辺地域での最大地震は、11 日の 01 時 32 分ごろに発生した伊豆を震源とする M3.7(気象庁マグニチュード 3.6)でした。
- 震源決定した最大地震
8 月 11 日 01 時 32 分 深さ 13.48 km M3.7 (伊豆)
- 箱根火山の群発地震 : 0 回

2. 神奈川県内で有感となった 2012 年 8 月の地震 (気象庁資料より)

表 1

日付	時間	深さ	M	震央地名	県内 最大 震度	西湘地域	足柄上地域	湘南地域	県央地域	県北地域	黄須賀三浦地域													
						箱根	小田原	真鶴	湯河原	足柄	松山	大磯	伊勢原	茅ヶ崎	寒川	清愛	厚木	綾瀬	座間	相模原	津久井	相模湖	横浜	横川
8月3日	22時19分	43km	4.6	茨城県南部	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	
8月11日	1時32分	12km	3.6	伊豆半島東方沖(伊豆)	1	1	1	1																
8月13日	13時48分	77km	3.9	埼玉県南部	2	1	1	1	1	1						1	1	1	1	1	1	1	2	2
8月14日	11時59分	654km	7.3	オホツク海南部	1		1	1						1										1
8月20日	20時42分	57km	5.2	茨城県南部	2	1	2	2	1	1	2	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2
8月26日	3時37分	90km	5.2	福島県沖	1																			1
8月30日	4時05分	60km	5.6	宮城県沖	1																			1
8月30日	4時17分	49km	4.1	茨城県南部	1															1	1			1

(注1) 震央地名は気象庁の発表名を掲載していますが、()内は当所の地域区分によるものです。

(注2) マグニチュード(M)と深さは気象庁の発表の値を掲載しています。

(注3) 平成18年3月20日に津久井郡津久井町と津久井郡相模湖町、平成19年3月11日に津久井郡城山町と津久井郡藤野町は相模原市に合併しました。しかし、過去の震度値との比較を容易にするため、これらの地域は「県北地域」としてまとめ、従来通りの表示にしています。

表 2 震源決定地震数(2012 年)

地域区分による地震数

	箱根	足柄平野	丹沢山地	県東部	相模湾	伊豆	静岡東部	計
1月	16	10	235 (14)	9	1	5	3	279 (14)
2月	19	7	103 (4)	15 (1)	5	13	2	164 (5)
3月	26	13	31 (1)	1	1	5	9	86 (1)
4月	17	13	18	1	1	11 (1)	1	62 (1)
5月	19	17	17	3	1	3	0	60 0
6月	19	8	14 (2)	12 (1)	0	11	0	64 (3)
7月	22	22 (2)	14	4	1	1	0	64 (2)
8月	16	8	18	9	1	4 (1)	0	56 (1)
累積数	138 (0)	90 (2)	432 (21)	29 (2)	10 (0)	49 (2)	15 (0)	835 (27)

注) 累積数は1月からの値。括弧内は有感地震数

3. 資 料

表 1 有感となった地震と各地の震度

図 1 神奈川県とその周辺地域の地震活動

図 2 表 1 に対応する地域区分

表 2 震源決定地震数

図3～6 地殻変動観測結果

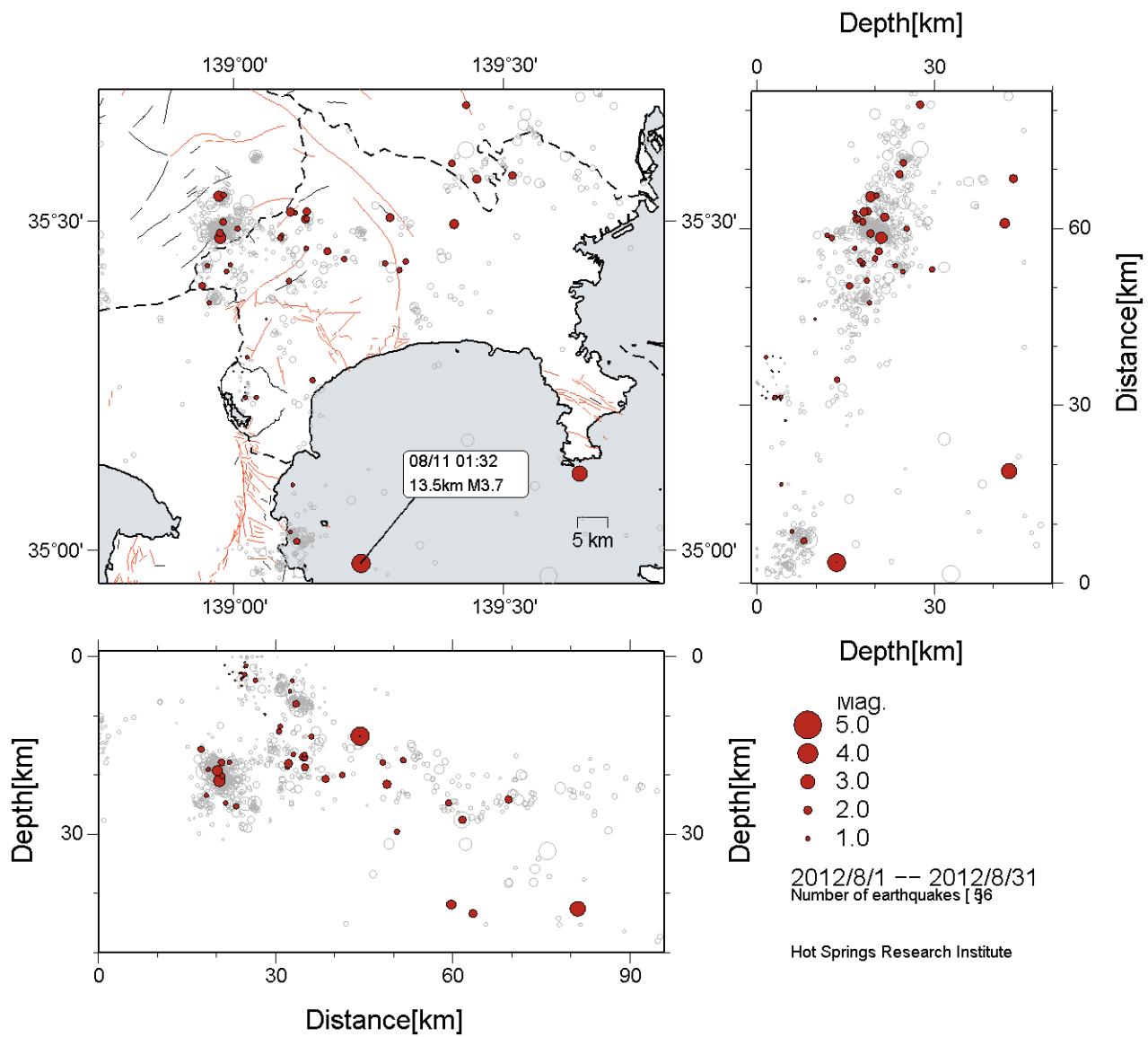


図1 神奈川県とその周辺地域の地震活動

(震源決定は、当所データの他に東京大学地震研究所、防災科学技術研究所および気象庁の地震波形データを利用しています。なお、図中、灰色の丸は気象庁による過去6ヶ月の震源、赤丸は今月の震源を示す)

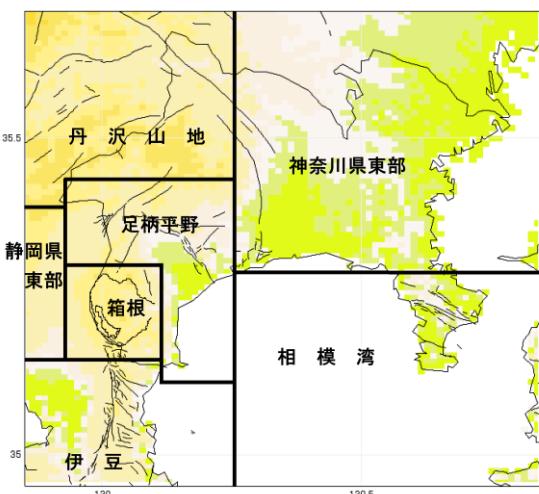


図2 表1に対応する地域区分（深さは50kmまで）

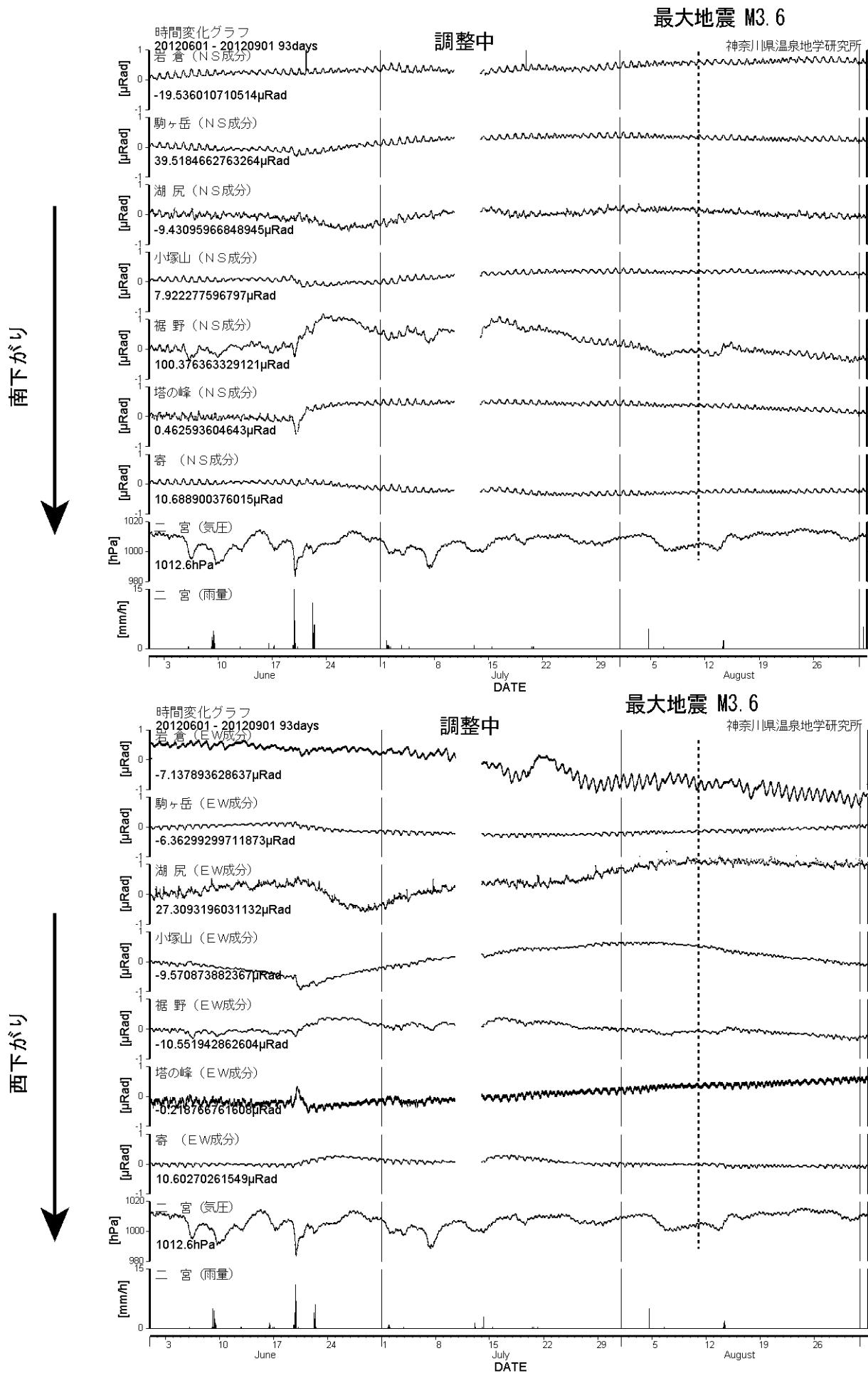


図3 傾斜計記録 (2012年6月1日から8月31日) 上：南北成分 下：東西成分

7月3日の地震によるステップは補正済み

最大地震 [1] 12年8月11日01時32分 深さ 13.48 km M3.6 (伊豆)

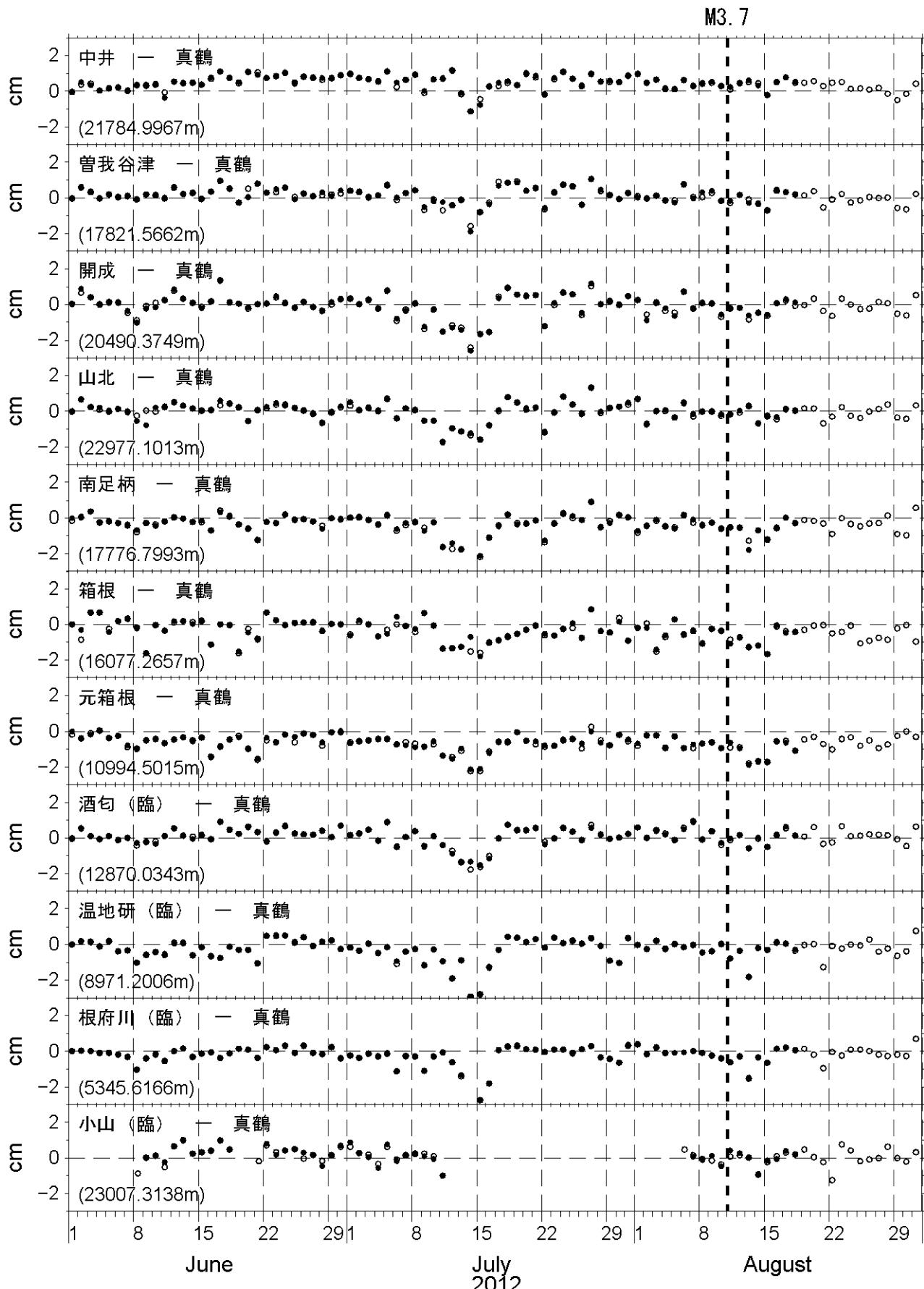


図4 GPS測量観測結果（2012年06月01日～08月31日）

真鶴観測点を中心とした、各観測点の基線長変化。●は精密歴、○は放送歴による解を示す。小山点は、（独）防災科学技術研究所との共同研究による観測点である。

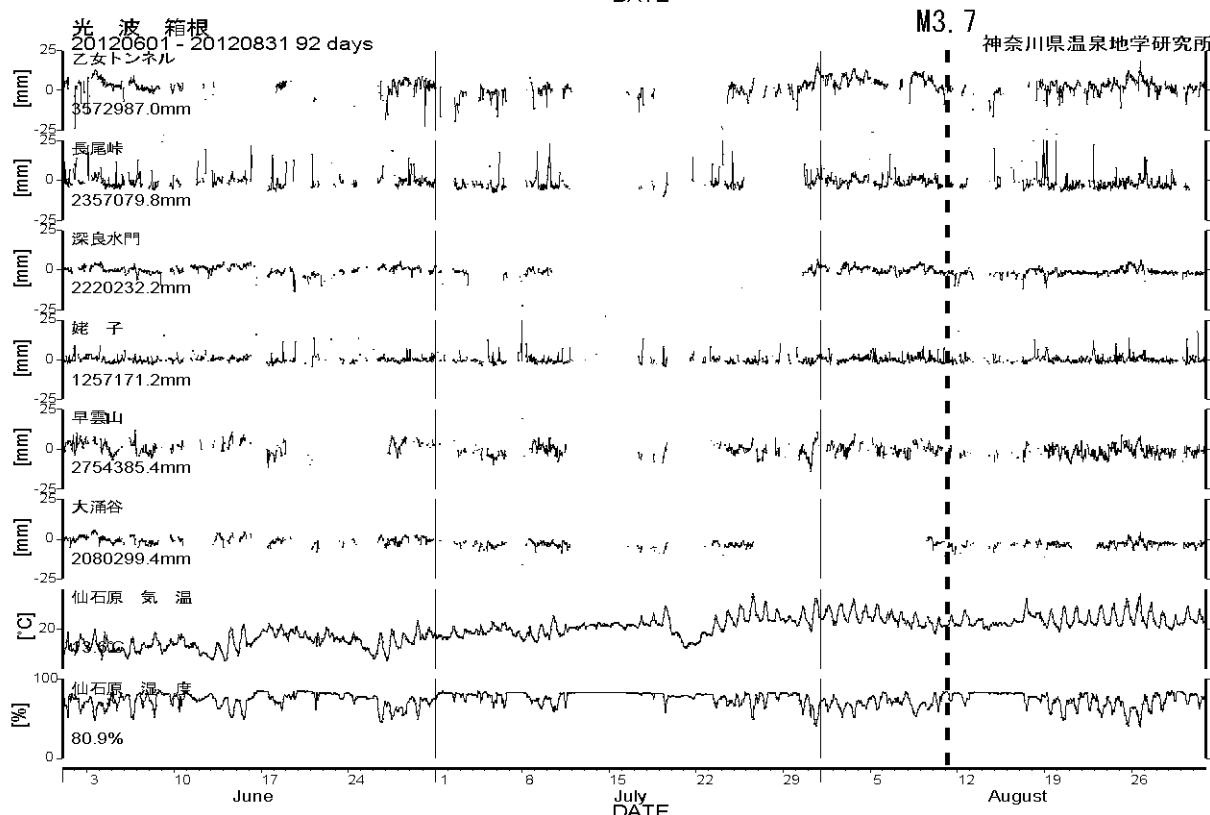
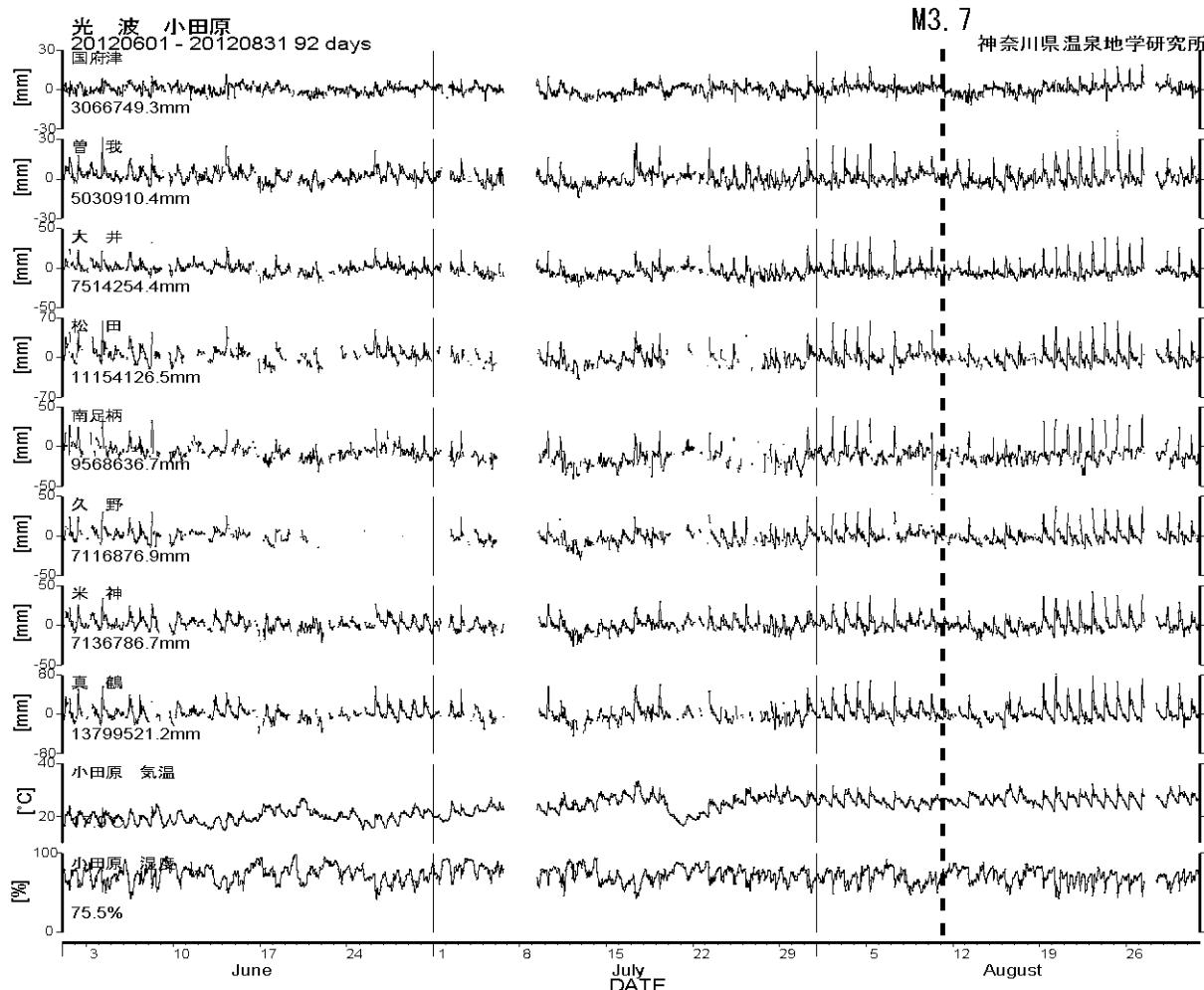


図5 光波測量観測結果（2012年06月01日～08月31日）
上：小田原観測網、下：箱根観測網

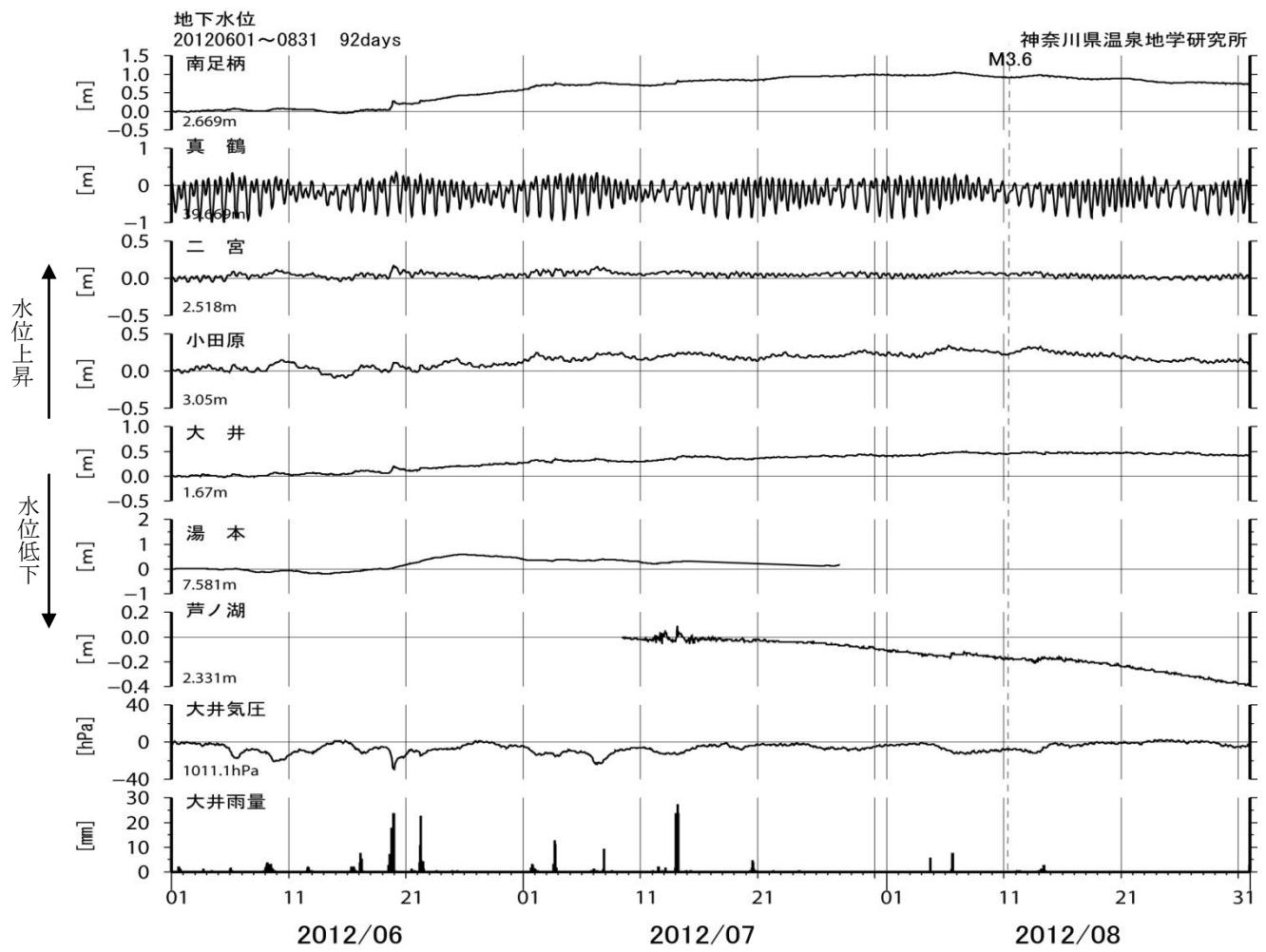


図6 地下水位観測結果(2012年6～8月)